

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 29年 10月24日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4675300240
法人名	医療法人 拓和会
事業所名	グループホーム なでしこ
所在地	鹿児島県始良市東餅田428-1番地 (電話) 0995-67-7230
自己評価作成日	平成 29年 8月 8日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成 29年 9月 6日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> ・母体医療機関に隣接したグループホームであり、24時間の医療体制が整っている。入居者様の健康管理、疾患治療、救急時の対応等では医師、看護師、管理栄養士との連携や協力体制が確立されており、入居者様もご家族も安心して生活を送っていらしゃる。入居者様やご家族の希望に沿った支援をし、「目配り、気配り、心配り」を心掛けている。 ・居室は全室が南向きで日当たりも良く、掃き出しの窓は避難誘導に容易な造りになっている。 ・職員は情報の共有、ケアの統一を図り、入居者様の意向に沿った支援が出来る様に、日々話し合いをして取り組んでいる。 ・入居者様の能力や趣味を引き出し「出来る事」の喜びや楽しみ、「好きな事」が続けられるように取り組んでいる。 ・母体の庭園には散歩コースがあり、季節の木々や花を楽しむ事が出来る。

<ul style="list-style-type: none"> ○ 住宅街に近接した母体医療機関に隣接して建てられ、広い庭には多くの植木や花々、菜園、東屋が見られ散策に適した環境である。天候の良い日にはテラスや東屋で、利用者や職員、時には地域の住民の方々や家族と食事やお茶、会話を楽しむことができる。医療機関との連携は密に図られ、利用者の健康管理と安全確保に重点を置いて、日常のケアの充実に管理者と職員が一体となって取り組んでおり、ご家族からの信頼も厚い。 ○ 地域との交流は活発で、法人で開催する秋祭りには家族や地域の方々に参加して頂くと共に、自治会に参加してサロンや地域の敬老会・運動会等への参加、地域の方々からの認知症等の相談に対応している。また、見学希望者や誕生会等でのボランティア受入、利用者の知人や近隣の方々の訪問も頻繁にあり、利用者は交流を楽しみにしている。 ○ 利用者やご家族との信頼関係づくりを大切にし、思いや意見を日常的に把握できるように努め、日々の申し送り時や介護記録の活用で情報共有を図っている。毎月の会議やヒヤリ・ハットの話し合い等で対応を話し合い、ケアに反映するしくみが築かれている。 ○ 本人や家族の意向や希望、医師や看護師も含めた関係者からの情報を基に、職員全員で十分な意見交換を行い、職員の意見やアイデアも反映したきめ細かなわかりやすい介護計画を作成している。日々のケアの経過も詳細に評価・記録され、また、毎月のモニタリングでも必要な対応は十分に話し合わせ、計画の見直し修正が適切に行われている。 ○ 看取りの事例は多く、管理者やケアマネ・職員は最期まで支援するという強い意志が感じられる。母体病院とは24時間体制で連携がとれ、ご家族の意向を最大限大切にして緊急時には迅速に職員が付き添うなどの必要な体制を築いている。
--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	「家族・地域との絆」を大切に、生き生きと暮らせる事を支えていく事や、地域に根差したサービス内容である。毎月会議では職員で理念を唱和し共有、意識し実践に繋げている。	ホームの理念に沿って、地域や家族とのつながりを大切にして、利用者には尊敬の念を持って優しく接し、生き生きとして楽しめる暮らしとなるよう日々取り組んでいる。理念を掲示して月1回のケア会議で唱和して意義の理解を深め、日々のケアを振り返り、より良いケアの実現に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域行事やサロンに参加したり、地域の方がボランティアに来て下さったり、地域との繋がりを大切にしている。母体法人の秋祭りには地域住民の多数の参加があり交流をしている。	自治会から案内される地域のサロンや運動会・敬老会等の行事には積極的に参加しており、法人が主催する秋祭りには地域住民の方々に参加して頂くなど、日頃から交流を図っている。見学希望者や誕生会等でのボランティア受入、利用者の知人や近隣の方々の訪問も頻繁にあり、利用者は交流を楽しみにしている。また、地域の方々からの認知症等の相談にも対応している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	日常から認知症についての勉強会に参加し、知識を身につけている。地域のサロンに参加し、認知症の理解や支援の方法を話したり、見学の受け入れや、困りごとなどの相談も行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的にご家族、入居者様、地域の方々、行政、苦情相談員、職員を交え開催し活動内容や現状報告、情報の共有、意見交換を行い入居者様のサービス向上に努めている。	会議は、利用者や家族・地域住民・民生委員・市役所職員・苦情相談員等が参加して定期的開催されている。ホームの現況や活動報告、地域の情報収集、職員の研修発表及びヒヤリ・ハット等の問題点に関する意見交換が行われ、情報や提案を職員で共有して、具体的に日々のサービス向上に役立てている。また、委員や納入業者による勉強会もケアの充実に活かされるなど、会議は有意義なものとなっている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	サービス内容についての疑問点は担当者に相談し、情報交換や提案、助言を頂いている。	行政担当者とは運営推進会議の他に、入退所の手続き・認定更新の手続き等の際に必要な助言や対応をして頂くなどの連携を図り、サービス向上に取り組んでいる。また、県や始良支部のグループホーム連絡協議会や研修会等でも市担当者との積極的な意見・情報交換が行われている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	施錠のない環境づくりに努めている。身体拘束に関する研修や事例検討を行い、身体拘束のないケアに取り組んでいる。ひやりハット報告書の活用や職員間の申し送り等でリスクについて話し合っている。見守りケアの徹底や工夫を行い抑圧性のない暮らしの継続を支援している。	居室や玄関等の施錠は、原則として行なわないケアに取り組み、利用者が外出しそうな様子を察知した場合は、職員が連携して見守りや声かけを行っている。また、言葉による拘束の排除を含む身体拘束については、毎月のケア会議で議論するとともに、日常的にもヒヤリハット事例やリスクについての話し合いのほか、外部研修や職員勉強会を通じて対応を共有しながらケアへの反映に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	入居者様に対しての言葉遣い、声掛けや対応の仕方でも虐待に繋がるという事をお互いに声掛け合い意識づけている。研修参加や職員勉強会を通して、日常生活の中でケアの方法が虐待に繋がっていないか職員間で話し合っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現在活用されている入居者様は居ないが、研修参加や職員勉強会を通して日常生活自立支援事業や成年後見制度について学んでいる。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約前にホームを見て頂き、重要事項説明書や契約書を元に丁寧に説明し、理解、納得をして頂いてから契約を結んでいる。改正の際は説明をし、理解頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族には毎月便りを送り、訪問時はいつでも気軽に話して頂けるような雰囲気づくりを心掛け、入居者様やご家族からの要望、意見等を元に職員の申し送りや会議などで話し合い、共有し反映させている。	利用者には、日常頻繁に声掛けして思いや意見を聞きだす努力をしている。ご家族とも信頼関係づくりを大切にし、来所時や運営推進会議の際に、話しやすい雰囲気作りに努めて多くの意見を頂いている。また、ケアマネからはケアプランを基に利用者の現状もお伝えしている。申し送りやケア会議を通じて全職員が共有を図り、サービスに具体的に反映できるように努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	管理者は職員が意見を言い易い雰囲気を心掛けている。職員と一緒にケアをしているので、その中で職員は意見、提案がいつでも自由に発言できる環境にあり、管理者も反映させている。	職員からの意見や提案は、日々の申し送り時や毎月のケア会議で聞き取ると共に、日常のケアの中ではコミュニケーションを取りやすい環境づくりに努めている。職員の気づきやアイデアも含めて得られた意見や提案は、職員の研修参加や資格取得などへの配慮のほか、業務改善や提供するサービスの質向上に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を	資格取得に向けた研修会等参加できるように、勤務体制を考慮している。資格を取得することにより資格手当支給があり、向上心を持って働く事が出来る様に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職場内の新人研修を計画的に行っている。勤務を調整し、研修会への参加が出来るようにしている。外部研修を活用し、研修後の報告を会議や回覧等で行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会への研修参加を通じ、他のグループホームとの情報交換や意見交換を行い、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居者様やご家族が安心、信頼して話して頂けるように、環境に配慮して話をゆっくり傾聴している。良き理解者となれるように信頼関係づくりに努めている。入居者様に寄り添うケアを努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族がこれまで抱えてこられた悩みや不安、今後の要望等に耳を傾けている。ご家族の方も安心して頂き、入居者様とご家族の架け橋となれるように信頼関係づくりにも努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前面接で情報を収集し、今一番必要な支援は何かを出来る限り正確に把握しサービスが支障なく開始できるように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様の話をよく傾聴し、感情や表情、行動を見て「気付き」を大切にしている。入居者様が「出来る事」を大切に、喜びや感謝、楽しみを共有している。入居者様と職員がお互いに助け合う関係づくりも大切にしている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族に入居者様の状態をこまめに報告し、ご家族と職員が情報を共有している。ご家族は精神面で入居者様を支えておられる。一緒に入居者様を支えているように情報交換している。行事等にはご家族も参加して頂いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	墓参り支援や自治会の敬老会、サロンへの参加支援を行っている。手紙や電話支援、自宅外出の送迎や外出支援、ご家族との夕食支援など、ご本人を支えてきた方々との関係継続の支援をしている。	入所時の聞き取りや利用者・家族との対話で、本人が希望する商店・美容室・墓参り・一時的な帰宅・ドライブ等のほか、地域のサロンや敬老会等を把握して、必要に応じて家族とも調整の上で可能な限り支援している。また、大正琴やオルガン・踊り・編み物等の趣味の支援、電話や手紙の取り次ぎ等と共に、家族や友人・知人の来訪時にはゆっくと過ごせるように配慮している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士で助け合って出来る様に環境づくりを行っている。お互いが共通の話題で話が出来る様に職員が関わっている。関わり合いを持つ事が困難な方は職員が橋渡しをしたり、トラブルになりかけた時は仲介に入り、孤立しないように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	亡くなられた時は通夜、告別式に参列し本人の思い出を語り故人を偲んでいる。落ち着いた頃には電話を入れたり、自宅に行きその後のご家族の様子をお聞きしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者様やご家族の声に耳を傾け、要望や意向、情報収集の把握に努めている。入居者様の言葉や表情からも思いを引き出すように努めている。困難な方にはご家族や関係者と話し合い入居者様の視点に立って検討している。	自分の思いを上手く表せる方が少ない中、職員は日頃の表情や言動、また家族からの情報を基に、特に本人の言葉を大切に聞き取るように努めて思いや意向を酌み取るよう努力している。関係者で本人の視点に立って意見を出し合い、必要な対応を検討し、その人らしい暮らしを送るための取り組みに積極的に関わっている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの暮らし方を入居者様やご家族から情報を収集し、これまでの生活が継続できるように、プランに反映させ、職員間でも共有し本人らしい生活の継続が出来るように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様の生活のリズムの把握や心身の状態を観察し、入居者様のペースに合わせた生活が出来るように支援している。残存機能の維持や本人の「出来ること」を継続できるように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居者様の日々の状態や言動、ご家族や主治医からの意見等を毎日記録に残し職員間でも情報を共有している。また月1回職員全員でモニタリングを行い、プランの見直しや今後のケアの方針に繋げている。	介護計画は、利用者や家族の思いや意見を聞き、職員をはじめ医師や看護師などの関係者とも確認して作成している。支援経過については「施設サービス計画実施結果表」に、プランの内容を日々評価して記録している。毎月1回は職員全員でモニタリングを実施し、必要な対応を丁寧に話し合い、計画の見直し・修正につなげている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	入居者様の心身状態の把握が出来るように介護記録や日誌、申し送りノートを共有している。個別の記録には生活の様子や言動、職員の気づきなどを記入し、情報を共有しながら介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	24時間医療機関との連携を図り医療ニーズの対応を行っている。他科受診時の付き添い等、入居者様の要望、必要に応じて個別の対応を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域行事やサロンに参加し、近くの店に買い物や神社へ参拝に出掛けている。避難訓練の際は地域の代表の方にも参加して頂き、地域の中で安全に充実した暮らしが出来るように支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的に母体である病院に受診し、入居者様の状態報告をしている。夜勤者は病院の朝礼に参加し状態報告をしている。状態の変化があればこまめにご家族に報告している。他科受診時は「医療情報提供書」を持参し安心して医療が受けれるように支援している。	利用者は母体病院をかかりつけ医としており、月2回の定期受診を適切に支援している。毎夕の看護師訪問でも健康管理がなされ、夜間や緊急時にもすぐに連絡をとれることが毎日を安心して過ごせることにつながっている。また、専門医受診は職員もしくは家族が同行している。受診状況や必要な対応も職員をはじめとする関係者で情報の共有が図られ、ご家族への連絡も適切に行っている。	
31		○看護職員との協働 看護職員は、口角の関わりの中にとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	母体である病院から毎日看護師の訪問があり入居者様の状態報告を行っている。日頃から看護師に相談し、状態変化があればすぐに報告し、適切な処置、医療が受けれるように支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	母体である病院が隣接されているので、安心して医療が受けられる。入院時にご家族の希望をお聞きし病院との連携を図り、早期退院に向けた働きかけをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所時に重度化した場合や、終末期のあり方についてご家族から話をお聞きしている。看取りの場合は、ご家族に説明をし同意書を得ている。入居者様、ご家族の意向を早い段階から把握し最善の対応が出来るようにしている。母体病院と24時間いつでも連携が取れ看取りを実施している。</p>	<p>重度化や看取りに対する対応指針を定め、家族に説明し同意をもらっている。また、その後も様々な変化の都度本人や家族、かかりつけ医と相談し、また、職員には母体病院の看護師の協力も得ながら、看取りを含む対応方針の共有も徹底して図られ、職員の意識は非常に高い。母体病院と24時間体制で連携がとられており、利用者やご家族の安心感につながっている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>定期的に研修参加や勉強会を行い急変時の対応策を再確認している。医師や看護師からの指導も頂き、急変時の対応に備えている。</p>	/	/
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年に2回避難訓練を実施し、全職員で災害時の対応が出来るように努めている。地域の方、ご家族、病院からの協力もお願いし協力体制をとっている。</p>	<p>消防署の協力のもと、地域住民参加の夜間を含めた避難・通報・消火訓練を、時には運営推進会議に合わせて年2回実施している。災害時に備えた自動通報装置・スプリンクラーなどの設備や関連する研修等の充実、食料や飲料水の備蓄も問題はなく、災害時にはご家族や地域住民、母体病院の協力も得られる状況である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様一人ひとりの性格に理解を深め、声かけや対応の工夫している。人生の先輩と意識し、敬語で話すようにしている。入居者様との関係づくりを大切にしている。	職員は連携して日常の観察は細やかに、利用者の人格や感性を大切にして、利用者のペースに合わせた声かけや対応に努めている。排泄や入浴時のケアに際しても羞恥心には十分配慮している。接遇や人権保護及び個人情報保護に関する研修も計画に沿って実施され、各種の個人記録や居室の保護も適切に行われている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様の要望や意向を引き出せるようなコミュニケーションを行っている。思いを表現できたり自己決定できるように、話しやすい雰囲気や関係づくりを行い、表情やしぐさから思いをくみとっている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様の意向を確認し、自分のペースで自分らしく生活が出来るような支援を心掛けている。体調に合わせ無理のない生活が送れるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	入居者様やご家族の希望や好みを尊重し、天候や気温に合わせた本人らしい服装を選択できるように支援している。季節感や清潔保持が出来るように気を配りながら支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様の出来ることを考慮しながら食事の下ごしらえや調理、片付け等を一緒に行っている。個人用の飲み物やお菓子を本人の希望で購入、飲食できるように支援している。	利用者に野菜の下ごしらえ・食卓の準備や後片づけなど、できることは手伝ってもらい、健康状態に応じた刻み・ミキサー食・とろみ食などの対応も行っている。おせち料理など行事食にも力を入れており、誕生会では希望のメニューや手作りケーキを提供、園庭では弁当を準備した家族との花見、東屋やテラスでのお茶会や食事会などで楽しみにつなげている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日食事、水分摂取量の確認を行い個々に合わせた管理をしている。状態に合わせて食事の形態を工夫したり、食事が入らない方は管理栄養士に相談し栄養補助食品で補食している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行い磨き残しや舌下の汚れをこまめに確認し、個々に合わせた口腔内の清潔を保持している。口腔の研修会に参加したり、定期的な歯科受診で歯のメンテナンスを行っている方もいらっしゃる。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定期的にトイレ誘導やオムツの確認を行い、出来るだけトイレでの排泄が出来るように、排泄チェック表を活用し誘導している。表情やしぐさなどを観察し声かけを行い誘導している。	利用者の表情やしぐさを観察しながら排泄チェック表を活用し、利用者個々のリズムを把握して、丁寧な誘導や声掛けを通じてトイレ誘導を基本にした支援を行っている。職員は排泄用品の選択や使い方など、利用者個々に合った取り組みの方針を話し合い、羞恥心や不安の軽減にも十分配慮して支援に反映するように努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘が体調不良となる一つの原因である事を職員が理解している。排泄チェック表を活用し便秘はないか確認し、便の状態に合わせて食事の形態や水分量の調整を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	体調や日中の活動状況、希望に合わせて個別入浴を行っている。入浴中は心身共にリラックス出来るように環境の工夫も行っている。入浴の出来ない方には定期的に清拭、更衣、手浴、足浴、シャンプー等を行い清潔保持を行っている。	利用者の体調や安全面に十分配慮して、本人の好みや習慣に沿って、また、会話や音楽も楽しみながら入浴できるように支援している。利用者がリラックスできるように入浴剤の工夫も行っている。利用者の状態に応じて清拭や足浴、シャワー浴などへ切り替え、清潔保持には十分配慮している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	室温や湿度、寝具、衣類の調整を行い、本人の体調、生活パターンに合わせて入床出来るよう支援している。夜間の睡眠時間を考慮し休息時間を作り、日中は適度な運動を心がけ、生活リズムが整うよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人の内服薬が把握できるように薬情ノートを活用し、副作用についても理解している。特に降圧剤や下剤、安定剤内服の方の体調変化を医師に相談し内服の検討をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	これまでの生活歴や入居者様、ご家族からの要望、好きな事が継続でき、張り合いや楽しみのある生活が送れるように支援している。気分転換が図れるように外出支援を行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	希望に添えるように買い物、自宅送迎、外食、墓参り、ドライブ等の外出支援を行っている。季節の花を見に出掛けたり、夜イルミネーションを見に行ったり、四季を感じられる外出支援に努めている。	敷地はたいへん広く、日当たりの良い公園もあり、自由に散歩できる環境である。利用者の健康状態や天候を見ながら、本人の希望に沿って、ご家族の協力も得ながら散歩やドライブ、外食、墓参り、一時的な帰宅など支援している。また、地域の行事やイルミネーション・鬼火焚きの見物、季節の花見など、四季が感じられるような外出を年間で計画して、可能な限り楽しく過ごせるように工夫・支援を行っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	預かり金の中から好きな物や必要に応じて希望の物を購入している。買い物と一緒に出掛け好きな物を購入されている。訪問美容師さんへの支払いは預り金からご自分で支払いができるように支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	入居者様からの希望があれば電話をしたり、ご家族や友人からの電話があればお繋ぎしている。希望に応じてお礼の手紙や電話をしている。写真を同封し様子がわかるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	室温や外からの光、テレビラジオ等の音、入居者様からの意見を取り入れながら調整をしている。共用の空間では、季節が感じられる物の掲示や写真、作品を飾り日々の取り組みが伺えるように室内づくりをしている。	公園がある広い敷地には多くの樹木や畑、東屋も設置され、季節を感じながらゆっくり過ごせる環境である。リビングは日当たりが良く明るく清潔で、季節感のある貼り絵などの手作り作品や行事の写真が飾られ、落ち着いた雰囲気の中で、静かにゆったりと過ごせるように工夫されている。また、ソファなども配置され、空調には細かい配慮が感じられ、利用者にとって不快に感じる音や匂いもなく、自由に気持ちよく過ごせるようになっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	座席の指定はせず、その日の状況や希望に合わせてゆっくり過ごせるように席の配慮をしている。気の合った入居者様との場やゆっくりテレビが見れるようになどそれぞれの居場所の工夫をしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には希望の物や思い出の物を置いたり、ラジオやテレビを好きな時間に楽しめるようにしている。家族の温もりが感じられる写真や好きな物の写真を飾り、孤立を感じる事なく居心地よく過ごせる工夫をしている。	居室は空調や清潔感に十分な配慮が感じられ、利用者が使い慣れた身の回りの物やラジオ・テレビ・ぬいぐるみ・写真や本などを自由に持ち込んでもらい、プライバシーを大切にしながら、自分の部屋として本人が落ち着いて過ごせるように配慮されている。また、利用者によっては、大正琴や編み物セットなどの趣味の道具も見られる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	室内はバリアフリーで安全で自由に行きき出来る環境である。目印になるような物を置いて自分で移動できるような工夫をしている。移動の妨げにならないように物の設置を考慮している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない